

授業科目名	卒業研究			担当教員	助教以上全員	
開講年次	4年通年	セメスター	7・8	時間数(単位数)	90(2)	
必修選択	必修	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	4年間の学習過程で培われた自己の問題意識を、既習知識と文献検索の結果を活用して、研究上の問い、研究テーマへと発展させ、それらへの答えを探求する過程を通し、論理的・科学的探究方法の基礎的能力を育成する。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. これまで体験した看護実践を踏まえて Research Question を立てることができる。 2. Research Question を明らかにするための研究計画を立案することができる。 3. 研究のプロセスに沿って自らを律し積極的に研究を遂行することができる。 4. 研究における倫理的問題を考慮し、基本的人権を擁護することができる。 5. 研究結果を論文にまとめることができる。 					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	本科目はこれまでの学修における最終段階であり、看護学の履修における集大成である。研究の標準的なプロセスをふまえて取り組むことで、今後の「看護の専門性を探求する力」を養うことを目指す。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探求する力	
		○			◎	
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間	担当者
	<p>学生は、主体的かつ計画的に下記のとおり研究を実施する。実施過程において、適宜教員にアポイントを取り、助言を受けながら進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Research Question の設定 授業科目「看護研究方法」で学修した内容を踏まえ自ら関心のある Research Question を設定する。 2. 研究計画書作成【提出期限：5月10日金曜日】 <ol style="list-style-type: none"> 1) 設定した Research Question について研究計画書作成例に基づき研究計画書を作成する。 2) 研究計画書は提出期限までに指導教員と学務課に提出する。 3) 研究対象が患者、住民、家族などの人を対象とする場合は本学研究倫理審査委員会および臨床側が指定する研究倫理審査機関の規定に基づき審査申請を行う。 3. データ収集・分析 作成した研究計画書に基づき実施する。 4. 論文作成および抄録の提出【提出期限：10月31日木曜日】 <ol style="list-style-type: none"> 1) 研究論文本文と抄録は作成規定に従い作成する。 5. 合同演習について 4月に合同演習を実施する。日時、場所、内容に関しては、別途、ガイダンス等で提示する。 					各指導教員

先行履修科目	3年次後期までに開設されている必修科目の単位をすべて履修していること。
テキスト	特に指定しない。
参考文献	看護研究方法で使用したテキスト
評価方法	卒業研究ルーブリック評価（ディプロマポリシーにもとづく）（40%）、研究計画書（20%）・論文本文および抄録（40%）
教員等の実務経験	看護職の臨床経験のある教員やリベラルアーツの各分野に精通した教員が、その経験を活かして、卒業研究の指導を行います。
メッセージ	提出された研究論文の中で、優秀な研究論文を優秀論文として表彰します。優秀論文に選ばれた学生には、12月23日の論文発表会で研究への取り組みと結果報告を行ってまいります。